

男女が共に生きるメッセージ

FRENTE

2000.7 Vol.4

フレンテ

Vol.

4

フレンテとはスペイン語で「前向き」という意味です。

コミュニケーション。それが子育ての第一歩です。

特集：子育てを考える

その1「子育て」周辺事情

- 登録グループ紹介
- セミナー受講生のその後
- 三重県男女共同参画推進
条例（仮称）制定に向けて
- はい！テレフォン相談室です
- 日本女性会議2000津
- イベントガイド
- いんぷおめーしょん





「子育て」一。
それは単に母親である女性だけが頑張ればよいというものではない。まわりのみんなが彼女たちの立場になって理解し、支援していかなければ、立ちふさ

「子育て」周辺事情。



がる問題の壁は乗り越えられない。では、母親たちは何に悩んでいるのか？彼女たちの生の声をきいてみた。



「お母さん」によって「子育て」は、犠牲と我慢!?

「子育てとは何か」。「自己犠牲」、「我慢」、まずそんな答えが返ってきた。ほかに何人かいたずねてみたが、だいたい同じような答えが返ってくる。なぜ、そうした答えしか返ってこないのだろうか…。その理由として一番多いのが「自分の時間が無い」。昔の自分だったらお茶を飲みに行くこともできた、買い物もゆ

ると、それができない。何かやろうと思ったら、子どもが寝てから。しかし、それも完全に手が離れたというわけではなく、夜泣きで中断されたり、起こされたり。しかも、そんな時に独自の友だちから「今度旅行に行くの」ということを聞かされれば、さらに虚しさが増すばかり。

「諦めている」と頭の中では分かっている、つい表情や態度にイライラが出てしまうこともある。ただ、そうしたお母さんの表情や態度に子どもは凄く敏感なようだ。「ある子がお母さ

んの似顔絵を描いたんだけど、出来上がった絵を見てショック。怖い鬼のような顔になっていたんです」。これは笑うに笑えない、お話である。

たしかに「子育て」は、やり甲斐はあるが…。

「子育ての楽しみは?」。そんな質問にスツと答えられるお母さんは少ない。少し考えてから「楽しいという

より、どちらかと言えば面白い…かな」。どうせ自分の時間は持てないんだから、いつそ考え方を变えて子どもと一緒に遊ぼうと思っている」というお母さんもいる。ほかに「子どもの笑顔は可愛い」とか「子どもの成長に感動することがある」という声が聞かれる。以前、「介護と子育ては同じ」という新聞記事が出ていたが、それにはどのお母さんも否定的。「子どもは成長していくから救われる」と。子育ては決して楽しいばかりではないけれど、面白いし、やり甲斐がある…



そんなところだろう。

むしろ、「子育ては辛い」というのが本音のようで、そんな時こそ家族の出番なのだが、「僕だって仕事で疲れてシンドイ」とか「僕には手が負えない」とか、子どもは好きなのに子育ては別という態度。一方で「お姑さんや実家の親に預けるといいうのも気が引けるし」と。結局のところ、お母さんの相談相手は友だち、または同じ年頃の子どもを持つ近所のお母さんということになる。

人と自分との間にできる溝や壁。

しかし、いくら近所に同じ年頃の子どもを持つお母さんがいても、じゃあすぐ仲良くなれるかといえば、それも難しいようだ。というのも、「今は大人どうしの付き合いがないから」とか



「そこに地域性が絡んでくる」「お母さんどうしの年齢の差」「昼間家にお母さんと働きに出るお母さんとは出会う機会が少ない」など、さまざま

な壁がそこにある。「よその子が危険なことをしていても注意しにくい。その子の親に、どうしてあなたに注意されないかんの？」と、逆に言われるし…。そんな注意もできない世の中だからコミュニケーションなんてとてもできない」とか「夫や両親は長い間、その土地で過ごしているから近所の付き合いもあるけれど、嫁いできた女性はその近所付き合いがないから、いきなり付き合いと言われても…それはちょっと無理な話だと思っ」という現実も気になるところだ。

話を家庭に戻そう。実は、この家庭の中にもいくつかの問題がある。例えば、子育てと仕事の両立。「仕事上、お客様の都合で夜出かせなければいけ



ない時があったのですが、そんな時、主人や両親に「ちょっとだけ子どもを預かって」と言うと、どうして夜に出でいかなければいけないのか、って言われて、「幼稚園に勤めていた時、おじいちゃんから「よその子を見るくらいなら、自分の子を見たらどうなんだ」なんていやみを言われたことがある」など。しかし、こうした問題もほんの一部だろう。もっと一人ひとり、深く話し合えばいろいろ問題が見えてくるに違いない。

社会に対するお母さんたちの厳しい目。

社会は子育てに対して、どれだけ応援してくれているのだろうか。「以前住んでいた所にも公民館があったのですが、子どもは騒がしいし、汚れるから」という理由で利用できなかったんですよ」とか「子どもは自然の中で遊ぶのが一番、というけれど、自然の中にもけっこう危険な所があるし…」。「公共施設の中に子どもトイレがないのはなぜ？」など、お母さんや子どもには決して寛容ではないよ

だ。

また、「幼稚園と保育所の違いも気になりますね。教えることがそれぞれ違いますから」。

「子どもが注意されると、責任を感じてシユンとなっちゃうお母さんもいますが、それって必ずしもお母さんだけの責任じゃないと思う」。たしかに、今の世の中は大人どうしのコミュニケーションも十分にとれていないし、社会システムにしてもお母さんや子どもの希望に合っていないものがある。そうしたまわりの環境を変えていかないで、何でもかんでもお母さん一人に責任を負わせるというのは酷な話のようだ。しかし、まだまだ世の中は子育てを支援する仕組みや体制が整っていない。今後、そうした問題をいかに改善していくか、行政の取り組みも求められている。



一人で悩んでいませんか？ 井澤 淑子さん



子育てはコミュニケーション
セッション作りから

悩みは一人で抱え込まないで。

私は今、母子保健推進員として津市の保健業務やサービスのご案内を担当しています。分かりますか？ 子育てに不安を持っていらつしやるお母さんと保健センターのつなぎ役ですね。

「何か困ったことがあったら遠慮なく保健センターに電話して下さいね」と呼びかけています。電話を下さればこちらもいろいろ相談のつてあげられるし、そうした話合いの中で解決の糸口が見つかりますが、心配なのは消極的なお母さん。出産後自宅までお伺いした折に声をかけるようにしてらるんです。「気晴らしに散歩でもしてみない？」って感じで。

「子育てはコミュニケーション作りから」とは、一人で悩まないこと。いろいろな方と出会って、コミュニケーションを深めて、そうした中から子育てのノウハウをつかんでいく。つまり体験学習をすることが大切なんです。ですから、もし今、子育てで悩んでいるお母さんがみえましたら、同じくらいの年の子どもを持つ近所のお母さんに声をかけるのもいいでしょうし、子育てサークルなどに入つて、いろいろな方とお付き合ひするのもいいでしょうね。



（社）日本助産婦会 三重支部 子育て・女性健康支援センター・みえ

「子育て・女性健康支援センター・みえ」では、妊娠・出産・子育てを中心に、女性の生涯にわたる心身の健康問題に取り組んでいる。

その活動は、授乳の相談から性教育指導にまで及ぶ。

本部には日中少なくとも2人の助産婦が常駐し、対応している。特筆すべきは、ほとんどの公的機関の相談窓口が終了する午後五時以降も、相談を受け付けていること。鈴鹿の本部の他、桑名・四日市・津・伊勢にも拠点を置いている。

子育て・女性健康支援センター・みえ 本部
代表 黒田妙子
鈴鹿市算所四丁目1-37 安産助産所内
TEL(0593)70-2707
9:00～22:00(年中無休)

- 助産婦による相談
- 電話相談(無料)
- 来所相談(有料)
- 訪問指導
- 育児サークル活動



「助産婦の最大の強みは、いつもそばにいてきめ細かいケアができること。気軽に相談してください。」と代表の黒田さんは、話している。

女性センターセミナー受講生のその後



「ひとは地域に生まれ、地域はひとをつくり、まちをつくる。地域づくりとひとづくりは循環していくのだと思います。」と語る数本さん。平成11年度の女性の政策方針決定の場への参画支援セミナーを受講したのも、「子どもがする町をつくりたい」という思いからだといふ。

数本有喜子さん

数本さんは、以前よりボランティア活動に参画していたが、4人目の子供の出産が縁で知り合った母親仲間の悩みを聞いたことがきっかけとなり、育児ボランティアに関わるようになった。現在は、保育ボランティアグループおひさまクラブほかほかをはじめ、名張市を中心に精力的に活動している。

「ほかほかのよいところは、いわゆるヤンママ(若い母親)から60代まで非常に幅広い年齢層の人がいること。その中で、経験のある人に育児の相談をしたり、託児をしたりと、お互いをサポートしながら活動しています。」それはまさに数本さんが育ってきた下町の縮図である。自分自身の経験から、子育てには家族や地域のサポートは不可欠と感ずる。「もしそれが得られないのであれば、サポートするネットワークを作っていくかなければいけない」と思っています。



三重県女性センター登録グループ紹介



特定非営利活動法人 伊勢子ども劇場

『子ども達が自分に自信と誇りを持ち、自らの考えと責任をもって行動できるように活動を通してサポートする』というミッション(使命)の下、活動を続けている伊勢子ども劇場。

「人にはそれぞれ能力にあつた役割がある。世の中には指導者ばかりではなく、手の部分を持つ人もいれば、足になる人もいる。自分の能力を活かせる場所があれば、自信と誇りを持てるようになるし、責任も取れるようになるのです。私たちは子ども達に自分の在り方と責任について理解してもらえよう活動を行っています。」

「子どもは家庭の中だけでは育つていけない。だけど子どもが地域と関わりを持つていく為に必要。私たちが子ども劇場の活動を通じて地域の再構築がしたいのです。」と代表の秋山さんは話す。

子育てや教育の見直しが叫ばれる昨今、子ども劇場の今後の取り組みに注目していきたい。





男女共同参画を推進する条例に関する基本的考え方の検討を依頼しました。依頼を受けた懇話会

三重県では、来るべき21世紀の社会の基礎を、性別にかかわらず、一人ひとりがお互いを尊重し、個性を活かせる 男女共同参画社会と考えています。

男女共同参画社会の実現を目指し、県として総合的な取り組みを図ることができるよう、男女共同参画を推進する条例をつくるため、平成11年11月16日、有識者などからなる「三重県男女共同参画推進懇話会」（武村洋子会長ほか10名）（以降、「懇話会」と呼びます。）を設置し、

三重県男女共同参画推進条例(仮称) 制定に向けて

三重県では、男女共同参画を推進するための条例制定に向けて検討を進めてきましたが、平成12年6月29日、三重県男女共同参画推進懇話会から提言「男女共同参画推進条例(仮称)の制定に向けて」が知事に提出されました。

『提言』が提出されたことにより、今後は具体的な条例案を検討する作業に入り、9月議会での成立を目指します。

では、月2回のペースで会議を開催し、平成12年3月22日には『中間報告』をまとめ、知事に提出しました。

その後、最終報告に当たる『提言』をまとめるにあたり、『中間報告』に対する「県民の意見を聴く会」を県内各地10ヶ所で開催したほか、電子メールやファックス等で意見を募集し、多くの意見が寄せられました。

そして、平成12年6月29日、11回の懇話会を経て『提言』がまとめられ、知事に提出されました。

今後、県では、懇話会から出された『提言』を基に、条例案の検討を行い、第3回定例会（9月県議会）への条例案上程を目指します。

1 県民からの意見

開催日	会場	参加者数
3月27日(月)	(財)三重地方自治労働文化センター	90名
4月25日(火)	四日市市本町プラザ	28名
5月10日(水)	桑名市市民会館	32名
5月16日(火)	海山町立中央公民館	44名
5月19日(金)	三重県伊勢庁舎	33名
5月20日(土)	三重県津庁舎	39名
5月22日(月)	三重県熊野庁舎	68名
5月23日(火)	三重県松阪庁舎	38名
5月25日(木)	鈴鹿市文化会館	28名
5月26日(金)	三重県上野庁舎	46名
合計	10ヶ所	446名

電子メール、ファックス等による意見 54通（3団体を含む）

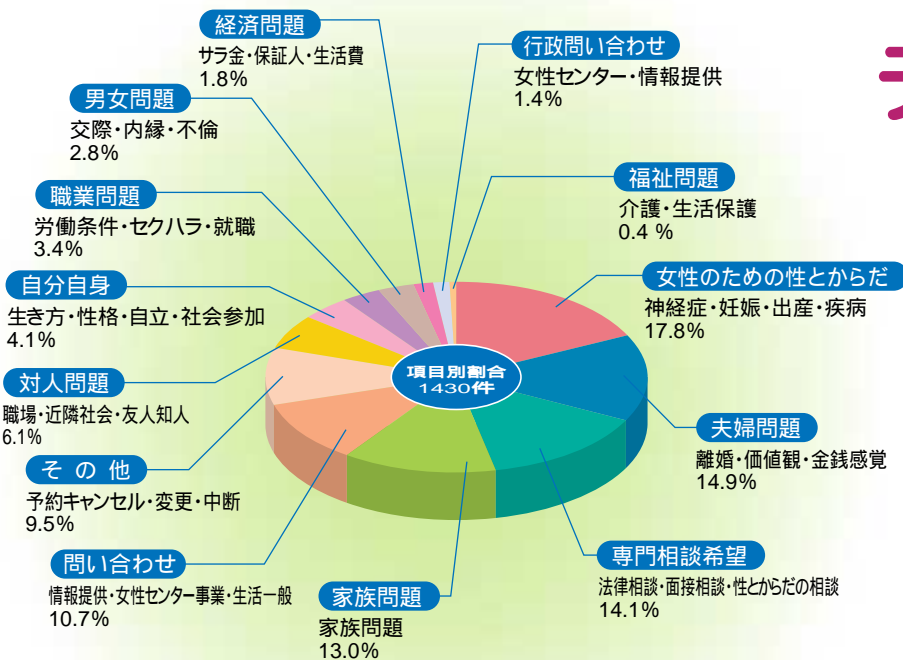
条例の名称案 23件

2 『提言』に盛り込まれた内容の概要

- 1 男女共同参画社会への要請
- 2 三重県の現状
- 3 条例制定の意義
- 4 条例制定の効果
- 5 条例の名称について
- 6 条例に盛り込むべき事項
- 7 前文
- 8 目的
- 9 基本目標
- 10 責務
- 11 行動計画の策定

参考：三重県ホームページで「三重県男女共同参画推進条例(仮称)」に関する情報を公開していますのでご覧ください。

相談内容内訳



はい！
テレフォン相談室です。

- 電話相談
- 面接相談
- 法律相談
- 女性の性からの相談

秘密厳守・無料

お気軽にお電話ください

三重県女性センター相談室

TEL 059-233-1133

平成11年度種類別相談件数

	電話相談	面接相談	法律相談	女性の性からの相談	合計
件数	1430	108	66	35	1639

男性会議 99での一場面



実行委員の思いをひとつにするため
100名以上で意見を交換する全員会議

日本女性会議2000津の開催を各地でPRする自転車隊



開催日程・会場

平成12年11月10日・11日
三重県総合文化センターなど

テーマ

そうや!男も女もおんなじ人間やんか
男女共同参画社会の実現のために

開会セレモニー
津らしさをアピールできる心に残るセレモニー

基調講演
A...身近な問題から21世紀の女と男の関係を考える
B...男女共同参画社会基本法がもたらす役割と展望について

ふれあいタイム
活動展示発表・アトラクション・物産展など

交流会「おいしいはなしさがそに」
全国から参加したみなさんとの情報交換や、意見交換など

分科会・ワークショップ
10の分科会と6つのワークショップ

全体会
21世紀の新しい社会を考える

閉会セレモニー
「2000津宣言」など

男女の平等と男女共同参画社会の実現を目指して、毎年全国の都市の持ち回りで開催されている日本女性会議を、今年11月、津市で開催します。人口16万人規模の都市での開催は初めてです。

実行委員会は、全国から参加者を迎える会議を成功させるために、平成10年12月の発足以来、協力しあって準備を進めています。実行委員会は、総務部・全体会部・分科会部・広報部・サポート部の5つの部会に分かれています。各部会で企画や運営方法などについて話し合いを重ね、5月には日本女性会議2000津の開催内容を公表しました。

「男女共同参画社会基本法」の役割や展望、「女性2000年会議」の報告とこれからの国の内外の動きを紹介する基調講演の他、21世紀への新しい社会のあり方を三重県津市から発信しようとしています。

昨年8月にはブレ日本女性会議2000津「男性会議・99」を開催。たくさんの方に男性にも参加していただき、貴重な意見を数多くいただきました。今回日本女性会議では初めて、男が語る男女平等をテーマに「男性」という分科会があります。また、「農山漁

参加者と共に21世紀を語りましょう

報告



そうや!女も男もおんなじ人間やんか

日本女性会議2000津

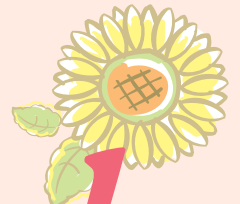
2000年11月10日(金)・11日(土)

PART.1



ポスターデザインは公募により決定(審査風景)

Event. Guide



4日(金)13:30~15:30
女性のための健康セミナー/本町プラザ
 四日市市
 「からだのお話とグループワーク」
 講師:市保健センター、保健婦
 四日市市女性センター
 0593・54・8331

4日(金)~10日(木)
コミックでたどる女性と仕事展/三重県女性センター

5日(土)10:00~16:00
「La La 子育て」
三重県女性センターいきいき子育て交流事業
/三重県女性センター
 男女や地域で取り組む子育てを一緒に考えあいましよ!

8日(火)13:30~15:30
仕事と介護両立支援セミナー/いせトピア
伊勢市
 働きながらの介護をサポートする様々な法律や制度、必要な知識を身につけ仕事と介護の両立を応援するセミナー
 講演「21世紀の国民課題」
 植田叔子氏
 伊勢市企画調整部女性課
 0596・21・5513

17日(木)13:30~15:30
この人と話そうホットな話/いせトピア
伊勢市
 「パートナーの日に贈ることば」をテーマにした野口佳子・宗昭夫妻によるトーク
 伊勢市企画調整部女性課
 0596・21・5513

18日(金)10:00~13:30
女性のための健康セミナー/保健センター
四日市市
 「手軽にクッキング」
 講師:市保健センター、栄養士
 四日市市女性センター
 0593・54・8331

22日(火)19:00~21:00
「L&Gの会主催男女共同参画セミナー」ともに歩もう21世紀にむかって/尾鷲市立中央公民館3階講堂
尾鷲市
 市長さんトークしよう...基調講演、グループ討議(テーマ「男のいいところ、女のいいところ」)
 尾鷲市役所市民課
 05972・3・8163

日程などは変更される場合があります。詳細については、お問い合わせください。

25日(金)19:30~21:00
人権「心のバリアフリー」体験講座/嬭野町生涯学習センター
嬭野町
 「男女共同参画社会を目指して」
 講師:三重県生活部女性政策審議監 田村恵子
 嬭野町教育委員会生涯学習室
 05984・2・1511

26日(土)
男性の家庭科-必修科目-
/三重県女性センター

1日(金)13:30~15:30
女性のための健康セミナー/ヘルスプラザ
四日市市
 「リフレッシュ体操とグループワーク」
 講師:コンチネンス学習会代表 八木葉子
 四日市市女性センター
 0593・54・8331

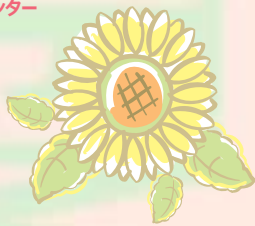
30日(土)13:30~16:15
カレッジ2000/本町プラザ
四日市市
 映画からのメッセージ『ユキエ』の上映と監督のお話
 講師:映画監督 松井久子
 四日市市女性センター
 0593・54・8331

7日(土)13:30~15:30
カレッジ2000/本町プラザ
四日市市
 「結婚を巡る女と男の行き違い」
 講師:愛知淑徳大学教授 小倉千加子
 四日市市女性センター
 0593・54・8331

12日(木)・13日(金)・19日(木)・20日(金)
(4日間全ての受講が必要)
育児サポーター養成講座/いせトピアほか
伊勢市
 子育て中の家族を支援するために、お子さんを預かったり、幼稚園・保育所の送り迎えをしたがる「保育サポーター」の養成講座
 伊勢市企画調整部女性課
 0596・21・5513

14日(土)19:00~21:00
カレッジ2000/本町プラザ
四日市市
 「ドメスティック・バイオレンス-暴力する男たち-」
 講師:メンズセンター 中村彰
 四日市市女性センター
 0593・54・8331

17日(火)~12月12日(火)全7回
女性の起業応援セミナー/三重県女性センター



COFFEEBREAK



前売券好評発売中!!

中丸 三千繪 ソプラノリサイタル2000

2001年に向かって~永遠のメロディー~

1990年、イタリア「マリア・カラス・コンクール」で日本人として初めて優勝し、以来各国のオペラハウスで、当代一流の歌手や指揮者と共演している中丸三千繪。

中丸三千繪は言います「歌から与えられた、かけがえのない思い。永遠のメロディー。わたしが今皆さまに伝えられる唯一の宝物です。」と。

日時 平成12年9月6日(水)
 18時30分~

場所 四日市市文化会館第1ホール
 入場料
 S席 6,000円
 A席 5,000円
 サルビア席 2,000円
 チケット発売所
 四日市市文化会館 / チケットぴあ /
 四日市市役所売店 / 物産観光ホール
 お問い合わせ
 四日市市文化振興財団
 0593-54-4501

プログラム

- チレア
 歌劇「アドリアーナ・ルクヴール」より
 “わたしは芸術の神のしもべ”
- シュトラウス
 「4つの最後の歌」より “眠るとき”
- ヴェルディ
 「椿姫」より
 “さようなら過ぎ去った日よ”
 ほか

いんぷおめーしょん

女性センターからのお知らせ

施設利用に関する
窓口変更のお知らせ

従来、女性センターで受け付けておりました施設利用の申し込み等につきましては、平成12年4月1日より総合文化センター内「施設利用サービス室」に窓口が変更となりました。ご利用当日の鍵の貸し出し・返却につきましては、「施設利用サービス室」で行います。

チャットルーム（託児室）の利用をご希望の場合は、女性センター施設の使用申込み時に併せてお申し込み下さい。

お問い合わせ
施設利用サービス室

（総合文化センター 文化会館1階）
*受付カウンターは文化会館情報コーナー内にあります。

059 233 1114

なお、サークル室につきましては、従来通り女性センターで受け付けております。

Frenteが
インターネット対応しました！

本誌「Frente」が三重県女性センター・ホームページの最新情報コーナーからもご覧いただけます。

アドレスは
<http://www.center-mie.or.jp>

読者の声

【Vol.3特集】

「働く女性」について

「働く女性」といっても農業、自営業や地域・市民活動他、多岐にわたっていて、輝いている女性の姿に刺激をうけました。固定観念にとらわれず、今までのような（男女の）役割分担の仕事にとらわれない、アグレッシブな働く女性が、もっと多く活躍してほしいですね。

また誌面でも紹介して下さい。楽しみにしています。

（四日市市・女性）

私はまだ高校生なのですが「働く女性」を見てこんな女性になりたいと強く思いました。

三重が女性にとってより働きやすい場所になるといいなあ。（四日市市・女性）

【ロデータについて】

子供が出来てからも、働き続けられる職場環境や保育所が、もっと増えてほしいこと、保育所の負担を市なり県が行ってほしいこと。

（伊勢市・女性）

皆さんの声を、お聴かせください。

特集「子育てを考える」へのご意見、感想
その他のコーナー、又は情報紙全体へのご意見、
ご感想について
平成12年8月31日（木）まで受付けています（必着）

各コーナーへのご意見、
ご感想はハガキ・FAX又は、E-mailにて右記まで
お寄せください。

三重県女性センター
〒514-0061津市一身田上津部田1234番地
FAX:059-233-1135
E-mail:frente@center-mie.or.jp

PRESENT
ご意見をお寄せいただいた方の中から抽選で3名の方に「女性センター」テレフォンカードをプレゼント。

BOOK & VIDEO

特集「子育てを考える」に関するビデオ・図書を紹介します。



たたくのは、しつけ？それとも...
ママたちの 思いと 悩みが 集まった一冊。
ママ100人の体験談が寄せられています。

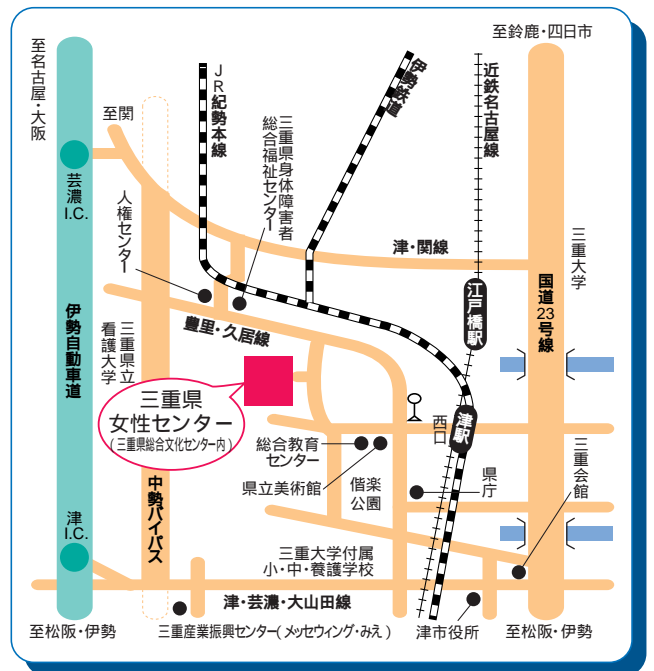


実際に子育てを経験しているお父さんの姿を追いながら「父親の子育て参加」を考えます。

ビデオは情報コーナーにあるビデオブースで自由にご覧いただけます。
図書は貸出も行っております。その際、利用者カードが必要になりますので、初めてご利用の方は、免許証・学生証・保険証など、現住所が確認できるものをお持ちください。

貸出対象者 / 小学生以上の三重県に在住、在勤、在学の方
図書貸出期間 / 2週間(1人2冊まで)
利用期間 / 午前9時から午後5時まで
休館日 / 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)
年末年始(12月29日から1月3日まで)

三重県女性センターまでのご案内



休館日 毎週月曜日
年末年始(12月29日から1月3日まで)

交通 バス / 津駅西口1番のりばから約5分
徒歩 / 津駅西口から約25分
自家用車 / 伊勢自動車道 芸濃インターから約15分 津インターから約10分
駐車場は約1,100台(無料)で、できる限り、公共交通機関をご利用ください。

ME CENTER FOR THE ARTS
三重県総合文化センター
三重県女性センター
〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234番地
URL <http://www.center-mie.or.jp>
E-mail frente@center-mie.or.jp
TEL.059-233-1130 FAX.059-233-1135